

親子聖書日課

NO.1852 2024.3/24-30

名前

[日]何度も罪を犯す人は、罪の奴隷です。奴隷は自分の力では自由になれません。買い取って下さる方で必要です。神は私達を罪から救うために、主の十字架の代価で買い取って下さったのです。主は「偉大にして力強く畏るべき神」です。

[月]主の戒めは、今の私達にも生きています。イエスを主と告白した者は、「主の戒めを全て守り、実行することを誓い、確約する」のです。主は、守れない戒めを私達に与えません。恐れなくて従ってみて下さい。主の従う時、祝福は与えられます。

[火]敵に攻撃されやすい城壁の町に住むのは、大変な犠牲でした。しかし、自ら進んで移住を申し出た人々がいました。いつの時代も、主のために進んで犠牲を払う人々によって、主の業は進みます。「進んで」主のために犠牲を払いましょう。

[水]城壁の再建は苦勞で満ちていました。しかし、その中でレビ人は「交代で賛美と感謝を唱えた仲間達」でした。主を信じる者にとって、苦しい労働は賛美となり、感謝の祈りとなります。私達もその仲間の一人になって、主をたたえ、祈りましょう。

[木]城壁の奉獻式は、聖歌隊を先頭にした賛美の行列でした。聖歌隊が人々の心を燃え上がらせ、一同の喜びの声が遠くまで聞こえました。聖歌隊は、賛美によるメッセンジャー、信仰の火付け役です。いつも主に向かって喜び歌いましょう。

[金]民はネヘミヤに導かれ、主の戒めを守るという契約を結びましたが、彼が一時、エルサレムを留守にすると、すぐに墮落しました。人が見ていなければ墮落するとは情けないです。主はいつも見ておられますから、どんな時も、誠実に仕えましょう。

[土]エステル記は、エステルがペルシア王妃に選ばれ、叔父モルデカイと力を合わせてユダヤ人を救ったことを記します。神という言葉も祈りも出てきません。しかし、神の御手の動きは鮮やかです。隠れたる神は、信仰者と共に働かれます。



	聖書	問題	名前 答え
日	ネヘミヤ記 9:25-37	何をもって彼らを救い出されますか。	
月	10:1-40	私たちは決して私たちの神殿をどうしませんか。	
火	11:1-36	民は、どのようにエルサレムに住む全ての人々を祝福しましたか。	
水	12:1-26	交替で何と何を唱えた仲間たちでしたか。	
木	12:27-47	誰がいて、神への賛美と感謝の歌をつかさどりましたか。	
金	13:1-31	ネヘミヤは、「神よ、私を何に留め、お恵み下さい」と願いましたか。	
土	エステル記 1:1-22	王の命令を拒み、来ようとしなかったのは、誰でもすか。	
感想と祈りの課題			